社説

鐵道買收の方法如何

鐵道官有論に付ては我輩の大に論じたる所にして大體の利害得失は既に明白なれども更らに細目に渉りて其方法手段を問はんに所謂鐵道國有なるものは日本國中の鐵道を舉げて一切官有に移すものなるや否や又其買上の方法は如何にす可きや等未だ公然發表したるものなしと雖も推測するに差當り日本鐵道甲武鐵道山陽鐵道九州鐵道の四幹線丈けを買上げんとして其買上の方法は四朱若くは五朱相當即ち純益の二十五倍若くは二十倍を標準に定め其額相當の五分利附公債を發行して株券と引換にせんと云ふ者あり果して然らば前記四鐵道既往三年若しくは五年間の平均純益を見積り五朱相當にて買上るとして其買收價格は何程なる可きやと云ふに其道に明なる或人の計算に據れば左の如し

日本鐵道は一割又は一割一分を配當したる事ありしも是れは補給金を加算したるものにて純利益は資本に對して大凡そ年八朱位なり本年三月末日の調(以下倣之)に據るに拂込濟資本金は四千二百卅六萬圓にて社債二十九萬五千圓合せて四千二百六十五萬五千圓なれば五朱相當とすれば買收價格は六千八百二十四萬八千圓なり

甲武鐵道は大凡そ一割二分の純益ありとすれば拂込濟資本百七十一萬圓及び借入金十四萬圓の合算百八十五萬圓に對する買收價格は四百四十四萬圓なり

山陽鐵道は大凡そ八朱五厘とし拂込濟資本千五百六十三萬圓之に社債二百萬圓借入金二十二萬圓を加へたる千七百八十五萬圓に對する買收價格は三千三十四萬五千圓なり

九州鐵道は大凡そ一割と見て拂込濟資本千九百十五万圓之に社債百八十九萬五千圓の合算二千百四萬五千圓に對する買收價格は四千二百九萬圓なり

右の計算に據れば以上四鐵道の買收價格は一億四千五百十二萬三千圓なり今これを一億五千萬圓と假定し此額丈けの五分利付公債を發行するとせば年々國庫の負擔す可き利子は七百五十萬圓なり政府は買收したる四鐵道を自から經營して果して七百五十萬圓の純益を生じ得らる可きや否やと云ふに大に疑なきを得ず如何となれば政府の營業に營業費の增加は實際に免かれざるの數なればなり論より證據は二十九年度の鐵道局年報を見る可し營業費の營業收入に對する割合は

官線は四割六分　日本鐵道は四割二分
甲武鐵道は三割八分　山陽鐵道は四割
九州鐵道は三割五分

にして建設工事の割合に完全なる官有鐵道が私有鐵道に比して却て營業費の多きを見るは官業と名くる本來の性質に於て止むを得ざる所なり左れば其營業費を平均四割と假定するも七百五十萬圓の純益を得んとするには千二百五十萬圓の收入なきを得ず今の私有鐵道を政府に買上げ自から營業する場合に至り果して千二百五十萬圓の收入を得るの見込ある可きやと云ふに實際に甚だ覺束なき其次第は前記四個の鐵道は私有の中にては屈指のものなれども之を官線に比するときは線路客車其他の建築構造本來、大に劣る所あるを免かれざる其上に私有の常態、成る可く配當益を多くせんとしたる結果として其改良修繕を怠慢に付したるの傾なきに非ざれば一旦政府に引受けて從來の官線同樣一切の設備を整へしめ又同樣の働きを爲さしめんとするには其營業費は收入に對して五割乃至六割を要せざるを得ず假りに五割とすれば千二百五十萬圓に對し六百二十五萬圓の經費にして純益は六百二十五萬圓となり六割とすれば七百五十萬圓の經費にして純益は五百萬圓となる可し左れば營業費六百二十五萬圓を要する場合には國庫は七百五十萬圓の公債利子を支拂ふ爲めに差引き年々百二十五萬圓を損し又五百万圓の場合には年々二百五十萬を損する割合なり況んや今後の改良擴張を期するときは買上げの後に施政す可きの事業は甚だ多々にして停車場の擴張、橋梁の改造、線路の修築、車輛の增加等あれが爲めに尙ほ二三千萬の金を要す可きが故に國庫は年々更らに百萬圓乃至百五十萬圓を損せざるを得ず方今政府の財政不整理にして歳入歳出相伴はず電信の增設と云ひ軍艦の製造と云ひ砲臺の建築と云ひ焦眉の急、實際に已むを得ざるもの丶外は一切之を見合せて尙ほ且つ歳入の不足を告げ當局者は新税源を求むるに苦心慘澹の最中、必要もなき鐵道買收の爲めに年々三百萬圓前後の支出を爲さんとす如何なる財源より之を辨ず可きや增税の必要は目下の實際に我輩の認むる所なれども鐵道買收など單に一部の輩を利せんとする恰も一種の投機運動の爲めに增税とあれば國民たるものは一錢一厘たりとも負擔を肯んず可きに非ず此一段に至りて論者の成算果して如何、我輩の聞かんと欲する所なり

東京市の電氣鐵道

東京市に於ける市街鐵道の問題は數年の久しきに渉りて未だ決せず市內の交通機關は單に現在の馬車鐵道及び彼のガラクタ馬車あるのみにして其不便に堪へず人口二百萬面積四里四方と稱して世界屈指の大都會なる東京市にして交通機關の不完全かくの如しとは若しも外國人をして聞かしめたらば其住民は如何にして日々生活の用便を爲しつ丶あるや殆んど了解に苦しむならん否な實際に吾々市民は交通不便の爲めに非常の損害を蒙りつ丶あるものなり卽ち市民の中に電氣鐵道敷設の計畫ある所以にして當局者に於て速に之を許可したらんには工事疾くに落成して今頃は盛に營業を見る可き筈なりしに今日に至りても未だ決せざる其次第を如何と云ふに第一に市內の交通機關は之を市有として市にて營業す可きや將た私立の事業として人民に許す可きやの問題に付き東京市會などにては市有の説を唱ふるもの少なからず又その敷設法にしても種々の説を生じて或は近來は更らに空氣壓搾の式を用ふ可しなど云ふものもあるよしなれども現に外國の實驗に徵するに市內の交通機關は電氣鐵道を最も便利とし近來の施設は殆んど之に限るの例にして空氣壓搾鐵道の如き今日の處にては單に學者の新發明にして實際の成蹟充分明ならず左れば東京の市街鐵道も外國普通の例に倣ふ可きを勿論にして此點にては其道の技術家をして實地に調査せしめたらば直に決するあると難からざる可し素人の喙を容る可き事に非ずとして扨市有私立の問題に至りては我輩に於ては孰れにしても差支なし只市民の便利の爲めに一日も早く事の實行を希望して止まざるものなれども東京市の實際に市有の營業果して行はる可きや否やと云ふに到底覺束なしと斷言せざるを得ず現に米國などにても市有鐵道の弊害を云々して之を攻擊するもの甚だ多し他國の例は兎も角もとして目下東京市には施設の急なるもの一にして足らず第一に市區改正の事業を始めとして水道の工事、下水の開通、道路橋梁の始末など一々數へ來るときは孰れも市の事業として片時も等閑に付す可らざるものにてありながら實際を見れば市區改正の如き何十年の後に成功するや殆んど知る可らず水道は今正に着手中なれども工事とかく遲引して未だ給水の場合に至らず道路橋梁の不始末に至りては言語道斷只驚くの外なし左れば今回特別市制廢せられて市長公選の事あるを幸に我輩に於ては少壯活潑の人物をして其局に當らしめ目下着手中の事業だけにても兎に角に片を付けしめんと希望しつ丶ある程の次第なるに此上、市街の鐵道までも市有として東京市自から營利の業を營まんとするが如き如何にして行はる可きや到底覺束なきは何人も認むる所なる可し或は市街鐵道の如き他の事業に比して收益尋常ならず之を市有と爲すときは市の收入に一廉の財源を得るに至る可しとて收入の一點よりして市有を主張する者もあるよし市街鐵道に收益の多きは現に今の馬車鐵道を見ても知る可し實際の事實なれども單に收入の目的ならんには寧ろ私立の營業を許したる上その收益の割合に從て市税を課し自から勞せずして收入を得るこそ得策なれ飽く迄も自から營業するの必要は何くに在るや我輩の認めざる所なり實際に私立に任するときは速に實行を見る其上に市の收入も僅なるに反して若しもいよ／＼市有營業に決せんには如何なる結果を呈す可きやと云ふに第一、營業上に自から冗費を免かれざるは市有の如き公共事業に免かれざるの弊にして運賃の低廉は實際に望む可らず世運の進步に應じて着々改良の實を擧ぐるは是れ亦公共の事業に望む可らず又市有營業は實際獨占の事を行ふものにして自から腐敗を釀し易きの患あり孰れも公共事業に伴ふ所の弊害にして米國などに市有鐵道反對論の盛なる所以なれども外國の事を見るまでもなく今の官有鐵道の有樣に徵して其無稽ならざるを知る可し左れば東京市に於て果して其事を行はんとするときは前記の弊害は覺悟の前にして市民をして不便を感ぜしむると同時に收入の目的は實際に齟齬せざるを得ず不得策申す迄もなきは尙ほ可なれども市自から營利の事業を經營する場合には其間に種々の情實行はれて或は水道鐵管事件の如き不始末を釀すこともある可し畢竟人の罪に非ず事業の性質に於て然るものなれども其曉に至りて事の原因を尋ぬるときは今日市有論を唱へたる其主唱者の不明に歸せざるを得ず當人の迷惑この上なきことならん況んや實際に於ては目下に施設す可き事業甚だ多々にして市街鐵道など營利業に着手するの暇ある可らず何人も認むる所なるに漫に市有論など云々して事を遲滯せしむるは恰も東京市の事を弄ぶものにして眞面目の擧動とは云ふ可らず其輩にして果して市の公益を謀るの心ならんには速に私立の營業を自由にす可し無理に市有説を實行して却て他の疑を招くが如きは我輩の取らざる所なり

○板垣內相の社會改良策

監獄改良は板垣內務大臣の宿論にして今回も就任以來種々計畫する處あり着々實行を期する等にて過般典獄の黜陟を行ひ更に來月十五日を期し典獄會議を開きて改良に關する將來の施設其他に就きて諮問する由なるが獨り之のみならず大に社會的改良の方法を講ずるよしにて既に夫々調査する所あり勞働者保護及び貧民救助問題の如きは卽ち其一にして其說に曰く社會進步して製造工業益々盛なるに當り工場取締若くは勞働者保護法を設くるの必要あることは固より云ふ迄もなし然れども法律を以て悉く同一制裁の下に措くの利害得失は容易に測り知る可らず例へば十歲以下の小兒は勞働者として使役するを禁ずとすれば其家計如何に依り或は止むを得ず乞食と爲すの外致し方なき事情もあらん此場合に於て乞食と爲すべきか苦役なりとも勞働に服せしむべきかは宜しく考究すべ[illegible]問題にして一片の法律を以て斷然たる制裁を[illegible]ざる所のものなり故に斯かる場合に[illegible]機關を以て實際の事情を取調べ然る上[illegible]するとせば至當ならん貧民救助法も亦同[illegible]にして要するに行政機關を働かして臨機の處置を爲さしむるの方法を講じ一方には慈善[illegible]

等を勸誘して
護協會等を設
經營せしむる
之に關する訓
宗敎に關する
淫賣取締を嚴
法を設けざる
は一方に地方
を謀ると共に
爲すべくして
を着々實行し
する目的なり

○法官

忠言者は所謂
を說き曾て之
之を曾禰大臣
識者の淘汰難
しも成らず僅
一新し頗る人
密謀の準備な
る語を以てせ
みし者ありと
希望に合ひ革新
ては亦深く咎
之を要するに
痛切を裝ふも
汰其事の是非
朋黨比周を批
するの傾ある
處分を以て完
ず殊に横田氏
るの地位に在
位を占めたる
の所爲として
を疑ふものな
德義上の問題
擧たるに害な
進の人物に付て
非ず然ども非常
ざるの數なり
るものなり然
少の事故を以
を叫び幾多の
勇退の美風を
難ならしめ新
ぐの弊をして
は我司法部の
も亦國家の不利
余輩は當局者
く一日も速に
革新の實を擧
揚せしむるに
なり而して其
成算の存する
事の就職履歷
別して其施行
蹟ある者を除
と見做し之を
標準とせば老
最も適當たる

○智

書東

書籍は
法は卽ち